

団体名

Take a step  
テイク・ア・ステップ

部門 一般部門

テーマ(2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践

企画タイトル

「わたしの体はわたしのもの」  
子供の自己決定能力を育む金沢に！

# 1. 団体について

- ・団体名

テイク・ア・ステップ  
Take a step

- ・メンバー(5名、青少年団体指導者、医療関係者)

団体設立の目的 SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

- ・団体の活動概要 青少年育成に長年携わり、SDGs5ジェンダーの平等を実現するためには、子供のころから、無意識を意識して、相手を尊重すること、思いやりをもつことが必要と考えました。

私たちは、**金沢で、すべての人がもっている「からだところの権利」**を学び「自分の体のことは自分が決める」ことを理解する教育「**包括的性教育**」をじわじわと広めたいです。

## 2. 現状の課題・背景

### ・団体が考える現状の地域課題・背景

①石川県は2024年度も「共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差」で最下位でした。●日常のジェンダー不平等は災害時に表面化しました。

②2023年6月に「同意なしの性行為は処罰の対象」となりました。

●私たちは同意とはどういうものか理解しているでしょうか

### ・解決するために考えたこと

ジェンダーに基づく思い込みや偏見は、何かに挑戦する気持ちを阻み、不平等を生み出します。不平等は、差別や暴力を受けるリスクを高め、人生の選択肢を狭めます。→その状況を解決する方法のひとつとして、包括的性教育があります。→子どもたち、若い世代に継続して伝え広めたい。

## 3. 企画の概要

### ・企画のねらい・コンセプト

「実験などを通して、明るく楽しく体のしくみを科学的に学び、子どもの権利を理解する」

### ・実施方法

専門家による、包括的性教育内容に基づく、わかりやすい講座(60分)と体験型ワークショップ(45分)を3回連続開催する。

対象は小学生親子と包括的性教育指導者を志す成人

### ・事業効果

包括的性教育は、幼少期から発達のも多様性に対応させながら包括的な内容を継続的に積み上げていくもの(スパイラル型カリキュラムのアプローチ)であることの実践を広く伝えることができる。

## 4. 今後の展望について

・今回の事業は団体にとってどのような位置づけなのか  
金沢の子どもたちの幸せな未来のために、子供向け包括的性教育(境界線、同意、多様性、無意識の思い込み)の分野でのワークショップを構築し、広めていく。

・今回の事業を通して、どのように活動の幅を広げていきたいのか

一緒に広めていきたい様々の世代とワークショップを展開し、担い手を増やし、包括的性教育推進の地域の受け皿となり、行政機関や、教育機関と協力ができるように活動の場所を広げていきたい。